

GT-2000X

GIGANTIC AND TREMENDOUS PLAYER

取扱説明書



本機の特長

このたびは、ヤマハ ステレオ レコード プレーヤー・GT-2000Xをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

GT-2000Xの優れた性能を十分に発揮させるとともに、永年にわたり支障なくご愛用いただくため、この『取扱説明書』をご使用前に、必ずお読みください。

また、お読みになった後は、大切に保管しておいてください。万一、ご使用中に不明な点が起きた場合、きっとお役に立ちます。

目次

本機の特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
各部品の確認	4
各部の名称と機能	5
組み立ての手順は慎重に	6
正確に調整しましょう	9
アンプへの接続はこうして	13
では、レコード演奏を	14
“故障かな？”と思ったら	15
参考仕様	16
ブロックダイアグラム/オプション	17

1 基本性能重視設計、YSA-1ストレートトーンアーム採用

水平トラッキングエラーを小さくおさえた実効長262mmのセミロングアームYSA-1を採用。高剛性削り出しセンターパイプ、ダイレクトメッキ黄銅製アームパイプ、アルミ削り出しヘッドシェルなどで構成され、さらに仮想一点支持ジンバルサポートにより、高感度で振動に強いヤマハならではのアームです。

2 超重量級ターンテーブル

直径374mm、重量5.5kg、慣性重量1.2 t/cm²の超重量級ターンテーブルを採用。このターンテーブルをクォーツPLL制御DCコアレスホールモーターがダイレクトドライブ。ワウ・フラッター0.0025% (WRMS：FG直読)、S/N比85dBを実現。

3 エレクトリックオートリフターYAL-1採用

自由にオートアップ位置を設定出来る非接触光学式位置検出方式のYAL-1が装備され、便利で確実なレコード演奏を可能にしています。

4 重量級キャビネット

内部損失が大きい、5層高密度パーティクルボードを使用した19kgの重量級キャビネットを採用。高い吸振効果を持つ大型インシュレーターと相まってあらゆる振動をシャットアウト。

5 ローインピーダンス信号ケーブル

信号コードには、ローインピーダンス <130pF/0.15Ω (往復)>。また、コネクターピンなど重要な接触部分には金メッキをほどこし、低い接触抵抗をいつでも維持することができます。

6 シャフト径は世界最大級のφ20、

まさにGigantic&Tremendous、GT2000Xのシャフト径は世界最大級のφ20。抜群のSN比(85dB)、驚異的なワウ・フラッター(0.0025%)、負荷変動が少なく、高い回転安定性を誇るGT-2000Xの回転系の要ともいえるものです。

7 ヤマハ木工技術の粋、ウォルナット鏡面仕上げ

重量級キャビネットは、ヤマハピアノ同様ウォルナット木目をいかした鏡面仕上げです。重厚さと気品、それに美しさと耐久性を兼ね備えたヤマハならではのものです。

豊かなオーディオライフのために…



設置場所は気をつけて

直射日光の当たるところ、高温になる場所（40℃以上）、温度の特に低いところ（-5℃以下）、湿度が高いところ、また極端に振動の多いところ、ホコリの多いところ、磁気の強い場所（テレビやモーターの近く）などはさけて設置してください。



お手入れはからぶきが一番

やわらかい布でからぶきするだけで美しさが保てます。ベンジン、シンナー、化学ぞうきんは使わないでください。また本機にレコードスプレーを吹きかけることのないよう充分ご注意ください。



電源電圧はAC100V

定格電圧100Vでご使用ください。電源コードは大切に扱い、特にコンセントからはずすときには必ずプラグを持ってください。

※本機はAC100V±10V、50/60Hzの範囲でお使いください。この電圧以外でのご使用は保証できかねます。



取り扱いはいねいに

アーム、スイッチ、キャビネットなどに無理な力は禁物です。



古いレコード針は使わない

一般的に針は200～300時間使用したら交換してください。針先が摩耗するとレコードを痛め音が歪んだり、ビリついたりする原因になります。



アンプから離して設置

アンプと並べて設置する場合、アンプの電源トランス側と本機のトーンアーム部は、ハム音の発生等を防ぐため、できるだけ離してください。また、出力コードも他の電源コードから遠ざけるようにしてください。



組み立ては慎重に

組み立て時にはこの『取扱説明書』をよく読んでください。また、電源プラグがコンセントに差し込まれていないことの確認をお忘れなく。



設置場所には振動のない静かな所を

ハウリングや針とびなどが生じない、静かで、振動のない場所に設置してください。



本体は必ず“水平”に

正確な回転速度を得、トーンアームを正しく動作させるために、必ず“水平”に設置してご使用ください。



“カミナリ”は大敵！

落雷のおそれがあるときは、早めにコンセントから電源プラグを抜いてください。



故障かな？と思ったら

この『取扱説明書』の【“故障かな？”と思ったら……】をご覧ください。



保証書の手続きはきちんと

購入時に必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日の記入などありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合、実費をいただくこととなりますのでご注意ください。



保管してください

この『取扱説明書』は、保証書とともに大切に保管してください。

キャビネットのお手入れは慎重に

本機のポリエステル塗装は耐久性、硬度共にすぐれておりますが、未長く美しさを保つためにお手入れには充分ご注意ください。又万一キズがつきますとその修正は大変困難となりますのでお取り扱いはくれぐれもご注意ください。

- ①汚れを取る時は、あらかじめホコリを毛バケ等で取りさった後やわらかい布でからぶきしてください。

※ホコリに混った砂等で本機にキズをつける原因になりますのでご注意ください。

- ②経年変化によりツヤが無くなる事があります。がワックスをかけて、お手入れ頂きますと再び美しいツヤが出ます。

※ワックスはポリエステル塗装用を確認の上ご使用ください。又コンパウンド入りワックスには粒子の荒いものがありキズの原因になりますのでご使用にならないでください。

- ③軽度のスリキズ等の修理

コンパウンド入り（粒子の細かい）ワックスか

ピカール等をやわらかい布につけて研きください。

※研く範囲はキズの部分のみにしてください。

※研く方向は木目方向にそって研く様にしてください。

※後でポリエステル塗装用ワックスがけをしてツヤを整えてください。

トーンアームのご注意

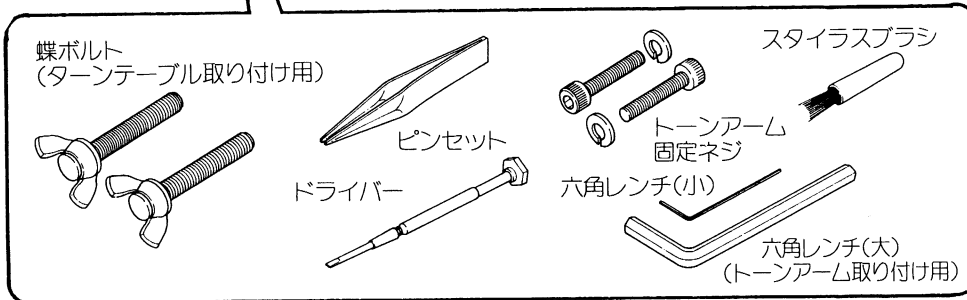
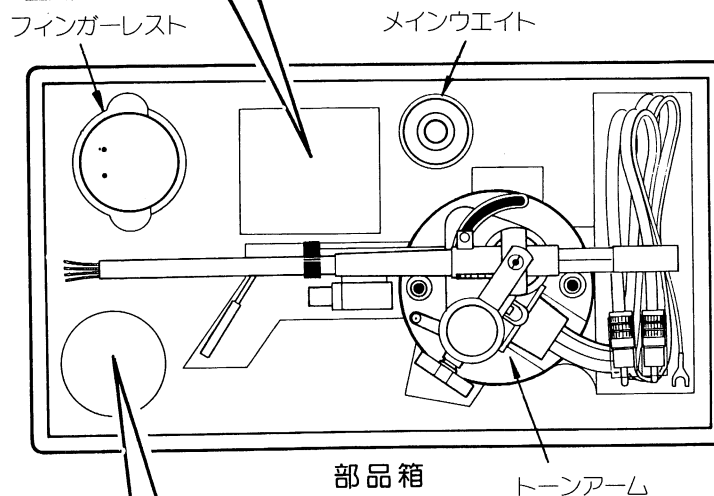
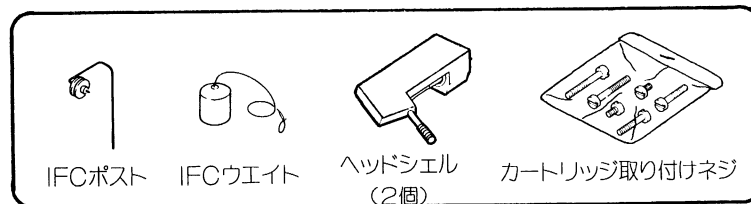
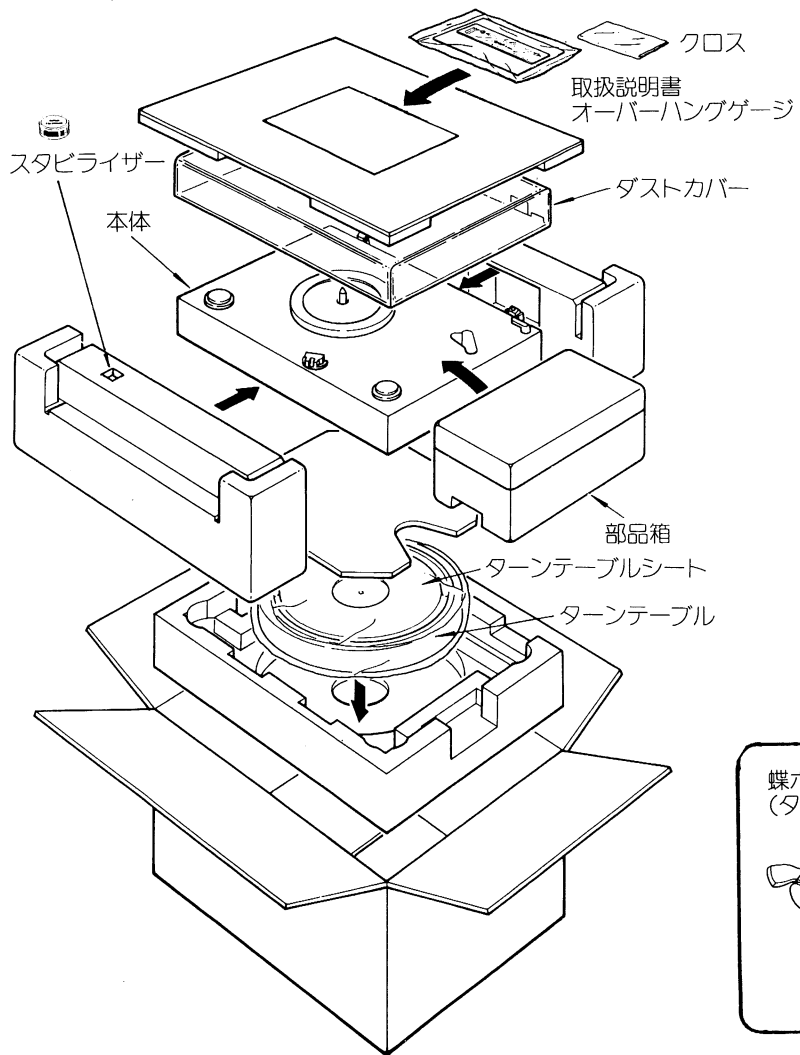
- ①シェル付きのインテグレートタイプのカートリッジは構造上取り付けできません。又奥行の長いカートリッジは取り付けできないものがあります。

- ②MMカートリッジをご使用した時、フィンガーフックに手を近づけるとハム音が出ることがありますが異常ではありません。

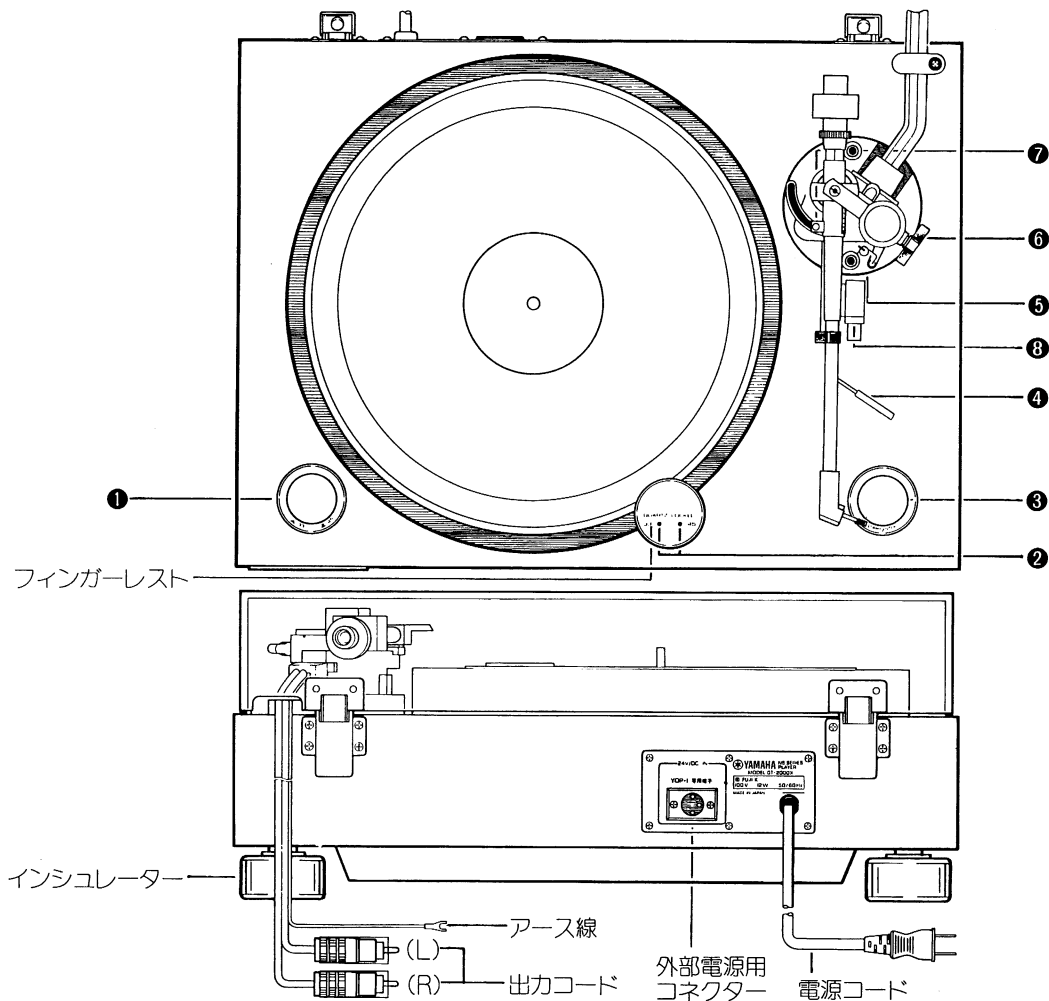
- ③アーム軸受部のリード線はローインピーダンス化のため通常の2倍となっています。この為ゼロバランスをとった時に、アームが水平方向に動き易くなっております。ご了承ください。

- ④本機のアームは等価質量が29gと大きい為ハイコンプライアンスのカートリッジではレコードのソリによって音がふらつくことがあります。ご了承ください。

各部品の確認



各部の名称と機能



- ① 回転数切り換えスイッチ
回転数の切り換えスイッチです。
 - 回転数 $33\frac{1}{3}$ r.p.m. のレコードを演奏するときは 33 にします。
 - 回転数 45 r.p.m. のレコードを演奏するときは 45 にします。
- ② クォーツロックインジケータ
回転数がクォーツ制御によって正確にロックしたとき点灯します。(それまでは点滅しています。) ※レコードの取りはずしのときフィンガーレストにレコードをひっかかないように注意してください。
※アームリフターを使わないで針をレコード面にもっていくときは、フィンガーレストを台にして針を降してください。
- ③ スタート/ストップスイッチ
フォノモーターのスタートとストップのスイッチです。
- ④ キューイングレバー
トーンアームを滑らかに上げ下げするレバーです。レバーを右へたおすと、トーンアームは滑らかに降下し、レバーを立てると、トーンアームは上昇します。
- ⑤ インサイドフォースキャンセラー
シンプルで確実な糸吊り式のインサイドフォースキャンセラーです。ロッド 1 目盛 0.25 g ステップです。
- ⑥ アーム高さ固定つまみ
トーンアーム高さ固定つまみです。このつまみをゆるめると、トーンアームは上下に 16mm の範囲で動き、ほとんどのカートリッジに対応することができます。
- ⑦ エレベーションアーム高さ調整ネジ
- ⑧ オートリフターアジャスト
オートアップ位置調整です。

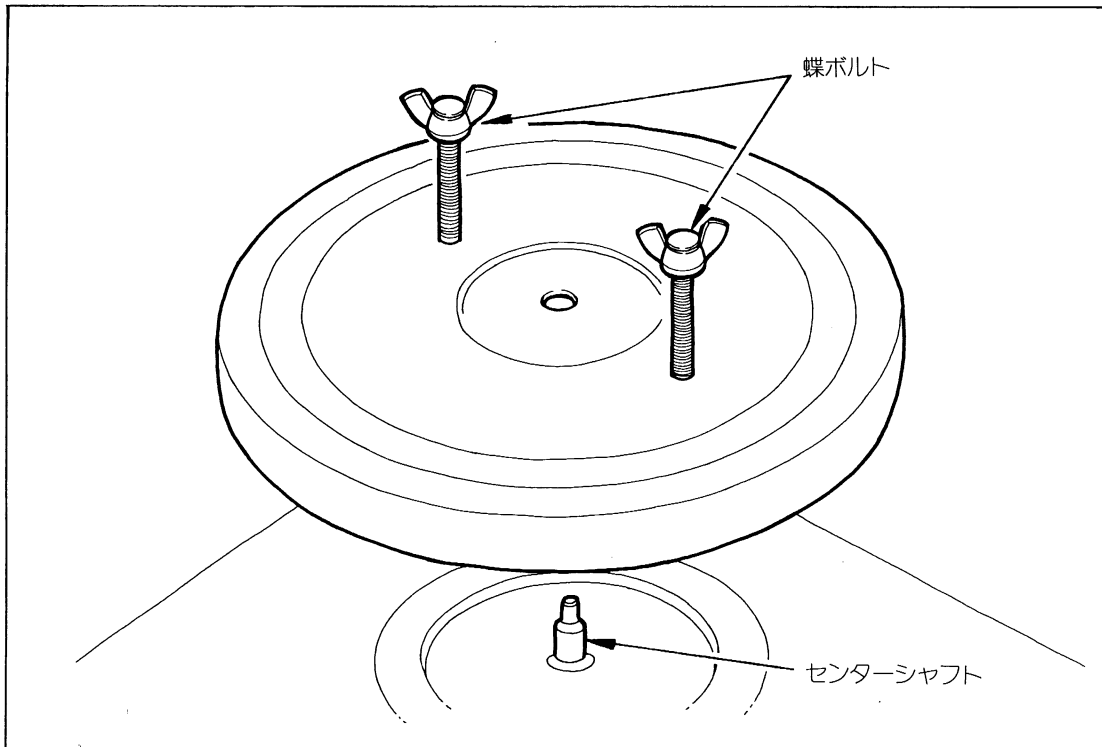
組み立ての手順は慎重に

■ターンテーブルの取り付け

●準備するもの……ターンテーブル/蝶ボルト
2個

- ①ターンテーブルに、付属の蝶ボルトを図の2ヶ所に止めます。
- ②蝶ボルトを両手で持って、ターンテーブルを

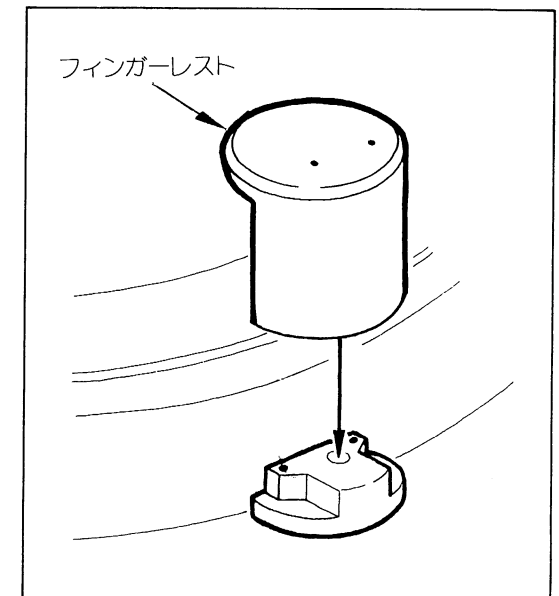
静かにセンターシャフトに差し込んでください。
(注)本機のターンテーブルは、5.5kgという重量を持っています。必ず、蝶ボルトを用いて、慎重に取り扱ってください。センターシャフト(モーター)に悪影響を与える原因となります。



■フィンガーレスト/ターンテーブル シートの取り付け

●準備するもの……フィンガーレスト/ターンテーブル シート

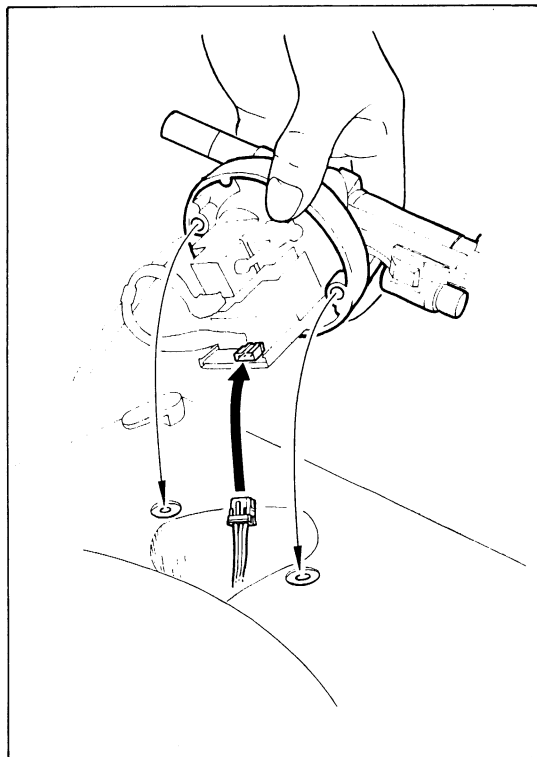
- ①ターンテーブルの上に、ターンテーブル シートをのせてください。
- (注)シートの外周がターンテーブル面より出ないように。
②フィンガーレストを図のように、しっかりと取り付けてください。



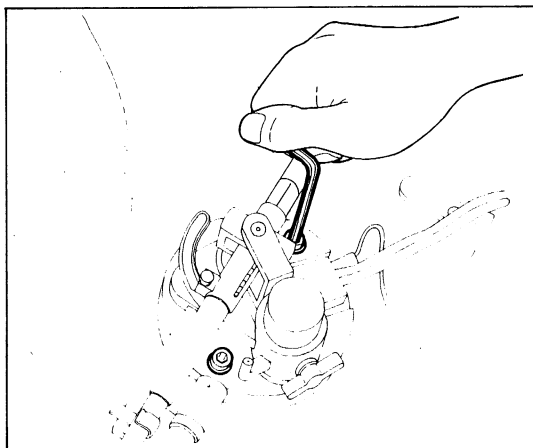
■ トーンアームの取り付け

● 準備するもの…… トーンアーム / トーンアーム固定ネジ 2本 / 六角レンチ

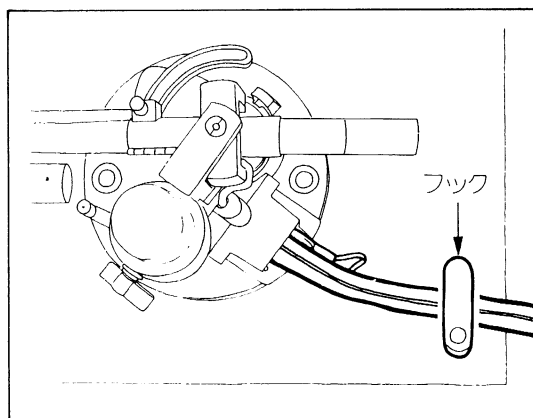
① 本体のコネクターをトーンアーム下部のコネクターに、向きを間違えないように接続してください。



② 六角レンチを使って、トーンアーム固定ネジ 2本をしっかりと締め付けます。



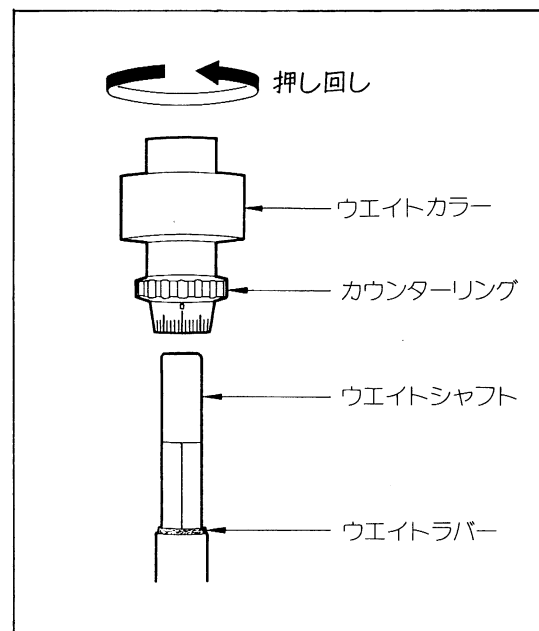
③ 出力コードをフックに掛けておきます。



■ ウェイトの取り付け

● 準備するもの…… トーンアーム / メイン・ウエイト

① ウェイトのウェイトカラーをスライドさせて、ほぼ中央に位置させてください。

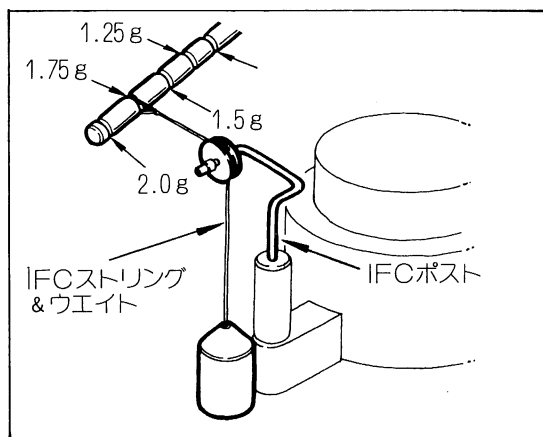


② ウェイトを反時計方向に押し回して、ウェイトシャフトに挿入してください。

③ ウェイトラバーとカウンターリングの間が10mm位になるまで、押し込んでおきます。

■ IFC (インサイド フォース キャンセラー) の取り付け

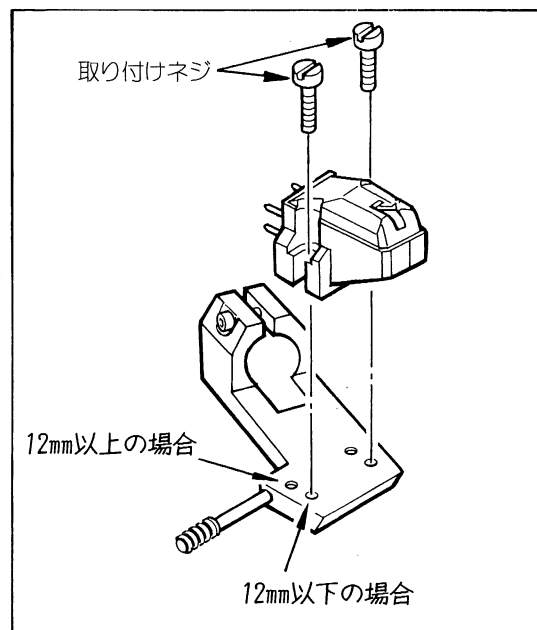
- 準備するもの……IFC ウェイト/IFC ポスト
- ①図のようにIFCを組み付けます。ストリングは、カートリッジの指定針圧と同じ数値の位置にかけてください。



■カートリッジの取り付け (適用重量範囲3~20g)

- 準備するもの……シェル 1個/取り付けネジ 1袋/小型のマイナスドライバー/カートリッジ (付属していません)
- ①ネジ部が1.5~2.5mm出るカートリッジ取り付けネジを選んでください。適当なネジがない場合には、長めのネジの先端をヤスリで落としてご使用ください。

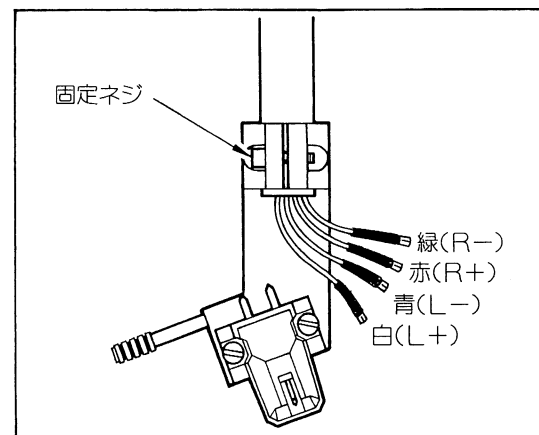
- ②カートリッジ取り付け孔から針先までの水平距離が12mm以下の場合、シェルの先端に近いネジ孔に止めてください。12mmを超える場合には、後側のネジ孔に止めます。



- ③取り付けネジが長いと、先端がネジ孔の奥に当たり十分な締めつけ力が得られません。カートリッジに力を加えてみて、ズレないことを確認してください。
- ④針カバーをしてください。

■シェルの取り付け

- 準備するもの……トーンアーム/シェル (カートリッジ取り付け済のもの) /六角レンチ/ピンセット
- ①シェルを裏にして、パイプの先端に差し込みます。入らない時は、六角レンチで固定ネジをゆるめてください。
- ②シェルを右回りに90°回転させた状態で、リード線チップを白・青・赤・緑の順に、ピンセットでカートリッジの各端子に充分に差し込んでください。



- ③シェルをさらに90°右回りに回転させて水平の状態にし、六角レンチで固定ネジを軽く締めておきます。

正確に調整しましょう

■インシュレイターの高さ調整

①キャビネット底面の4隅のインシュレイターを回転させて、ターンテーブル面が水平になるように調整してください。

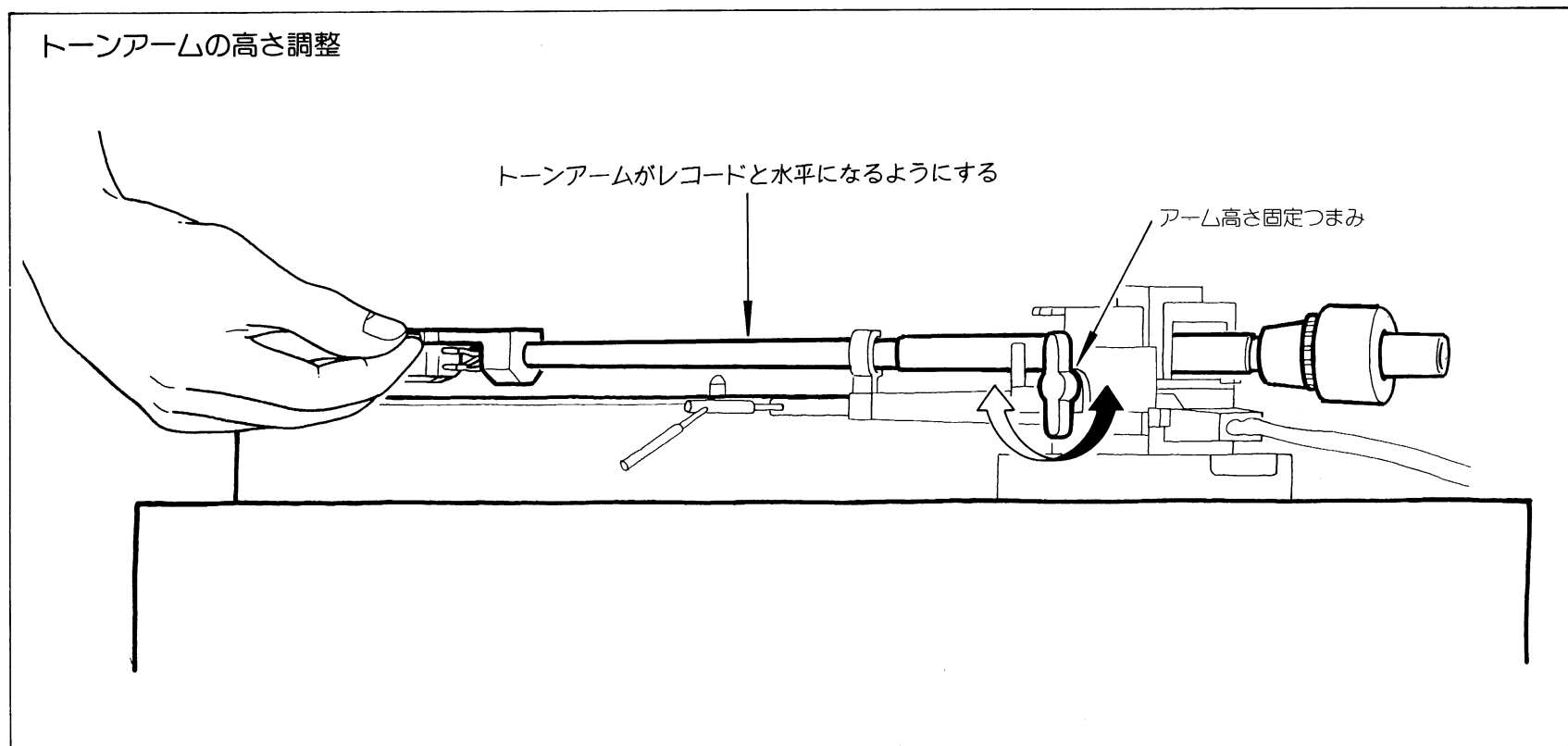
■トーンアームの高さ調整

水平バランスと針圧を仮調整して下さい。(P11・12参照)

①ターンテーブルにレコード盤を乗せ、キューイングレバーを下げて、針先をレコード盤に降ろします。

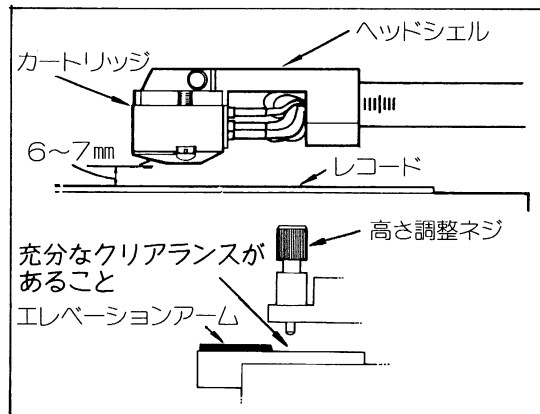
②アーム高さ固定つまみをゆるめ、トーンアームを静かに上下させ、レコード盤とトーンアームが平行になるように調整します。

③平行がとれた位置で、アーム高さ固定つまみを締め固定します。



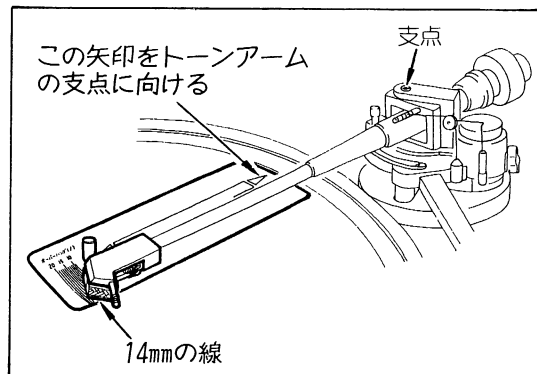
■アームリフターの高さ調整

①キューイングレバーを上げた状態で、針先がレコード盤から6～7mm離れる程度に調整します。このとき、キューイングレバーを下げてレコード演奏状態にしても、エレベーションアームと高さ調整ネジとの間が、充分にクリアランスを保っていることを確認してください。

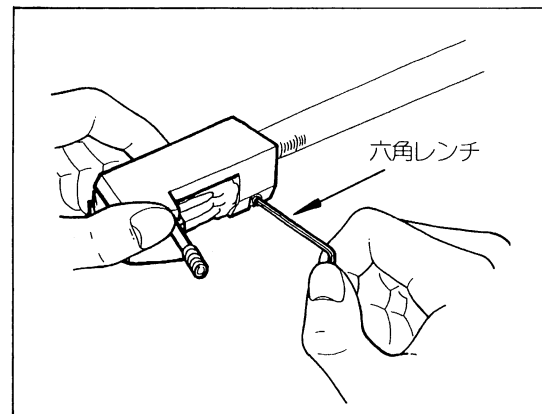


■オーバーハングとヘッドシェルの傾き調整

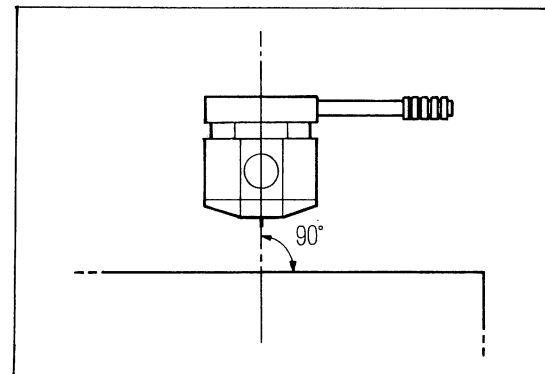
- ①オーバーハング調整は、付属のオーバーハングゲージを用いて調整します。
- ②オーバーハングゲージの穴をセンタースピンドルに差し込み、図のようにセットします。



③針先がゲージ目盛“14”の位置に合うようにヘッドシェルを前後に調整し、同時にシェルを水平にして、六角レンチで固定します。



④レコード面に乗せてヘッドシェルの傾きをチェックしてください。



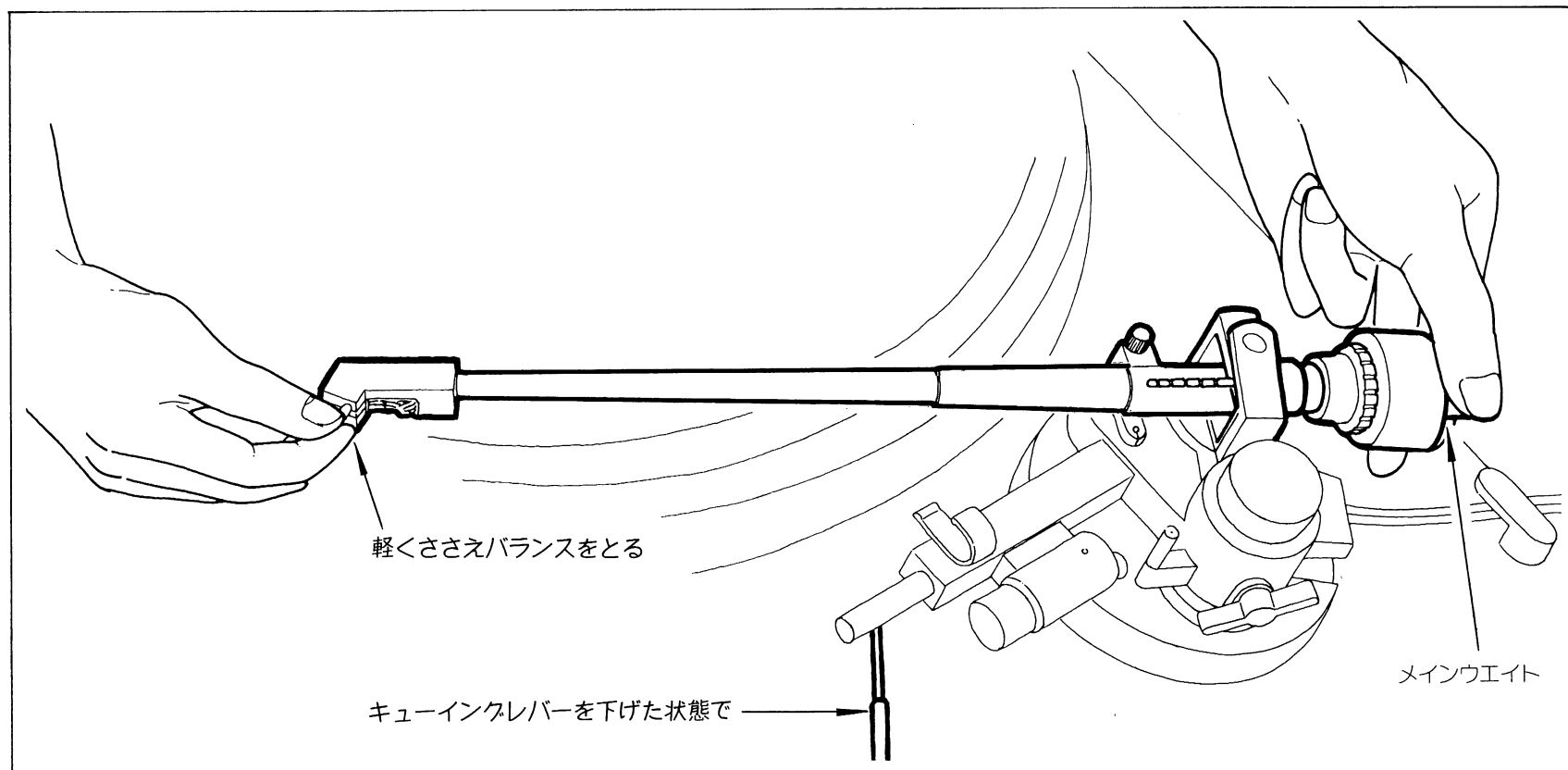
■水平バランス調整

- ①カートリッジの針カバーが着脱式の場合は、針カバーをはずしておきます。
- ②トーンアームをアームレストからはずし、タ

ーンテーブルとアームレストの間にもってきて、キューイングレバーを下げます。

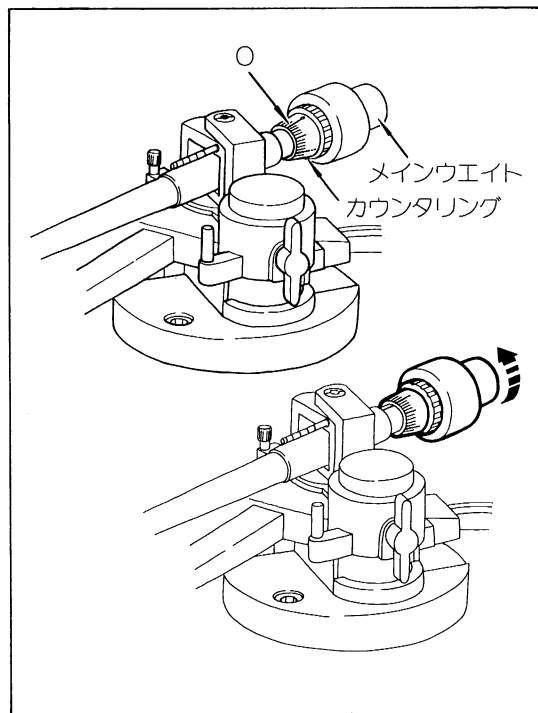
- ③メインウエイトを回してトーンアームが水平になるように調整します。

●IFCウエイトをはずしておけば調整が容易です。



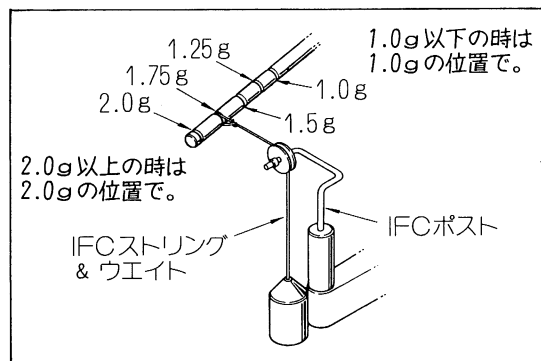
■針圧調整

- ①水平バランスがとれたときの状態で、メインウエイト前部のカウンターリングだけを回し、カウンターリングの数字“0”をトーンアーム上部のラインに合せます。
- ②メインウエイトを図のように時計方向に回し、カートリッジ指定の針圧値にセットします。



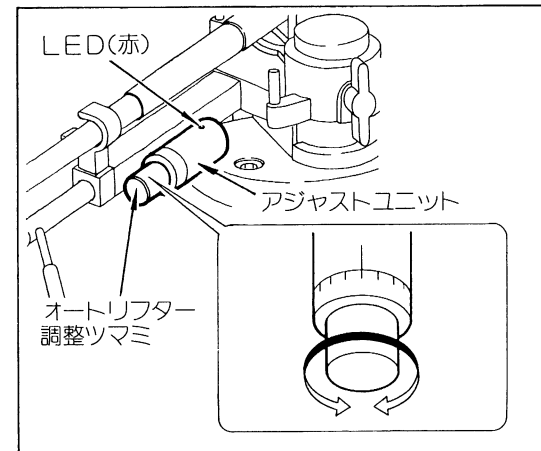
■IFC(インサイド フォース キャンセラー)の調整

- ①IFCポストを取り付けます。
- ②IFCストリングをカートリッジの針圧と同じ数値の位置へ掛け、IFCポストのローラーで吊ります。

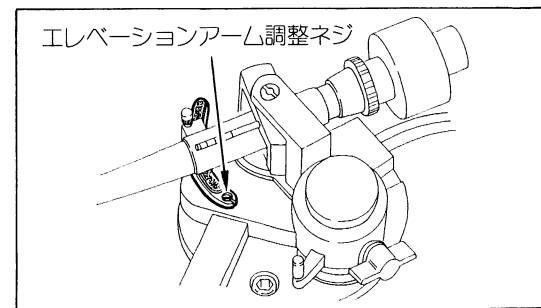


■オートリフターの調整

- ①アームリフターを上げた状態にして、オートリフター調整ツマミを“10”の位置にセットしてください。
- ②スタート/ストップ ボタンを押します。
- ③トーンアームを、オートアップさせたい位置にセットします。
- ④アジャストユニットのLED(赤)が点灯するまで、オートリフター調整ツマミを時計方向に回してください。

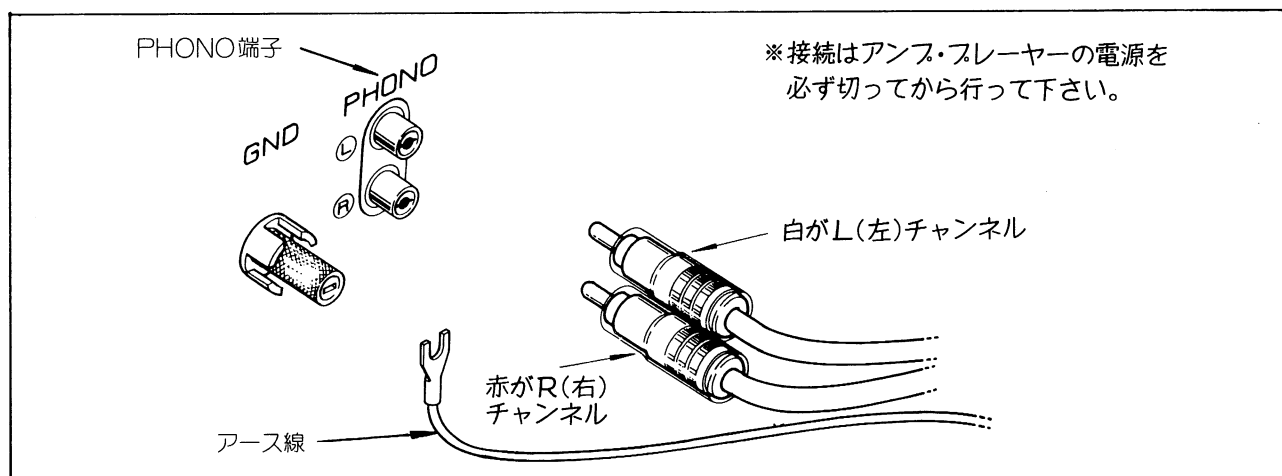


- ⑤実際にレコードを演奏して、オートアップ位置を確認してください。
- ⑥オートアップさせた場合とマニュアルアップさせた場合との高さの相違がある際は、エレベーションアーム調整ネジで、オートアップした高さと同じになるように調整します。



アンプへの接続はこうして

- ①トーンアーム後面から出ている出力コードを、アンプのPHONO端子に接続してください。白がL(左)チャンネル、赤がR(右)チャンネルです。
- ②出力コードから出ている黒のアース線を、アンプのGND端子に接続してください。
- ③電源プラグをACコンセントか、アンプの予備電源コンセントに接続してください。



では、レコード演奏を

■レコード演奏の手順

①プレーヤー、アンプ、スピーカーの接続コードをチェックしてください。

●電源コード→ACコンセントかアンプの予備電源コンセント

●出力コード→アンプのPHONO端子(L・Rを間違えないように)

●アース線→アンプのGND(アース)端子それぞれ正しく接続されているかどうか確認してください。

②接続したアンプを動作状態にします。

アンプの電源をONにし、FUNCTION(入力切り換え)スイッチをPHONOの位置にセットします。

アンプのボリュームは絞っておいてください。

③キューイングレバーが上にあがっていることを確認してください。

④演奏するレコードを静かにターンテーブルに載せてください。

45回転EPレコード(ドーナツ盤)は、EPアダプターをターンテーブルのセンターシャフトに差し込んでください。(EPアダプターは、付属していません。)

⑤スタビライザーをセンターシャフトに載せてください。

⑥スタート/ストップスイッチを押します。

⑦ターンテーブルに載せたレコードの回転数に合わせて、回転数切り換えスイッチをセットします。

⑧カートリッジの針先をレコードの演奏したい場所の上に持ってゆき、キューイングレバーを静かに下におろします。

※針がレコードに降りるまではアンプのボリュームを絞っておいてください。

⑨レコード演奏

アンプの音量・音質をお好み調節してお聴きください。

■演奏の終了

①再び、スタート/ストップスイッチを押すと、パワーはオフします。

(注)ターンテーブルは慣性で回ります。

“故障かな？”と思ったら…

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
スタート/ストップボタンを押してもターンテーブルが回転しない	電源プラグがACコンセントかアンプの予備電源コンセントにしっかり差し込まれていますか？	ACコンセントかアンプの予備電源コンセントにしっかり差し込み直してください
カートリッジを交換したときなど（ゼロ）バランスをとれない	正確に水平にバランスをとりましたか？	カートリッジ重量適用範囲3～20gです。範囲内であればウェイトツマミを回して再調整してください ウェイトカラーを前後にずらして再調整してください。
針先をレコード面に降ろしても音が出ない	出力コードの接触不良	出力コードをアンプのPHONO端子にしっかり差し込みください
カートリッジの腹がレコード面に接触する	針圧が重すぎるのでは？	適正針圧に再調整してください
	トーンアームの高さは正確ですか？	トーンアームの高さを再調整してください
再生音が歪んで聴きにくい、または“チリ”、“チリ”、“バチ”、“バチ”という音がし、特に高音域がひずんで汚ない	プレーヤーは水平ですか？	インシュレーターの高さを調整して水平に設置してください
	針先はキレイですか、ホコリなどが付着していませんか？	針先を針先掃除用刷毛などできれいにしてください
	針先の摩耗度はどうですか？	針を交換してください
	レコードが反っていたり、キズついたり、またレコードにホコリやゴミがついていたりしていませんか	レコードを新しいものと交換してください。レコードのホコリやゴミを拭きとってください
カートリッジに合った針圧になっていますか？	使用カートリッジの適正針圧に調整し直してください	
再生音がふるえたり、ハウリング（ポワーンという音）を起こして聴きにくい	プレーヤーの設置場所は、他からの音や振動の影響を受けないところですか？近くにスピーカーを置いていませんか？	しっかりした場所に移したり、スピーカーから遠ざけるなど設置場所を変えてください
レコード演奏のとき“ブーン”というハム音が入る	プレーヤーのアース線の接続不良	アース線をアンプのアース端子に接続してください
再生音が歪む（特に寒いとき）	ご使用のカートリッジのダンパー部にゴムが使用されていませんか？	もし、ダンパー部にゴムが使用されていたら針圧を重めにしてください。カートリッジを暖めるか、プレーヤーを使用している部屋を暖めてください

参考仕様

■フォノモーター部

駆動方式	ダイレクトドライブ
モーター	DCコアレスホールモーター
サーボ形式	クォーツPLL、正負両方向サーボ
回転数	33- $\frac{1}{3}$ r.p.m 45r.p.m
スピード表示	LEDロックインジケーター
起動トルク	2 kg・cm
ターンテーブル	
直径	374mm
材質	鍛造アルミ
重量	5.8kg(ゴムシート含む)
慣性モーメント	1.2t・cm ² (ゴムシート含む)
SN比(DIN-B, IEC98A WTD)	85dB以上
ワウ・フラッター(FGダイレクト)	0.0025%WRMS
回転数精度	±20ppm以下

■トーンアーム部

アーム形式	スタティックバランス、ストレート形インテグレートトーンアーム
実効長	262mm
オーバーハング寸法	14mm
オフセット角	20°
水平トラッキングエラー	(-1°~+2°)
針圧印加方式	スタティックバランス型 1回転4 g、0.1 gステップ
適用カートリッジ重量範囲	3 ~ 20 g
アーム初動感度	垂直7 mg、水平7 mg

アームリフター	オイルダンプ式キューイング
インサイドフォースキャンセラー	糸吊りウエイト式 1.0 g ~ 2.0 g、0.25 g ステップ
アーム高さ調整巾	16mm
ヘッドシェル	アルミ切削アルマイト仕上 重量8 g
パイプ内リード線	φ1.2 OFCワイヤ×4
PUコード	ITK #3000 黄銅切削ピンプラグ
信号線往復抵抗	0.15 Ω
等価質量(シェル含む)	29 g
重量(シェル+パイプ+ウエイト)	290 g

■オートリフター部

エレクトリックオートリフターYAL-1採用

■キャビネット部

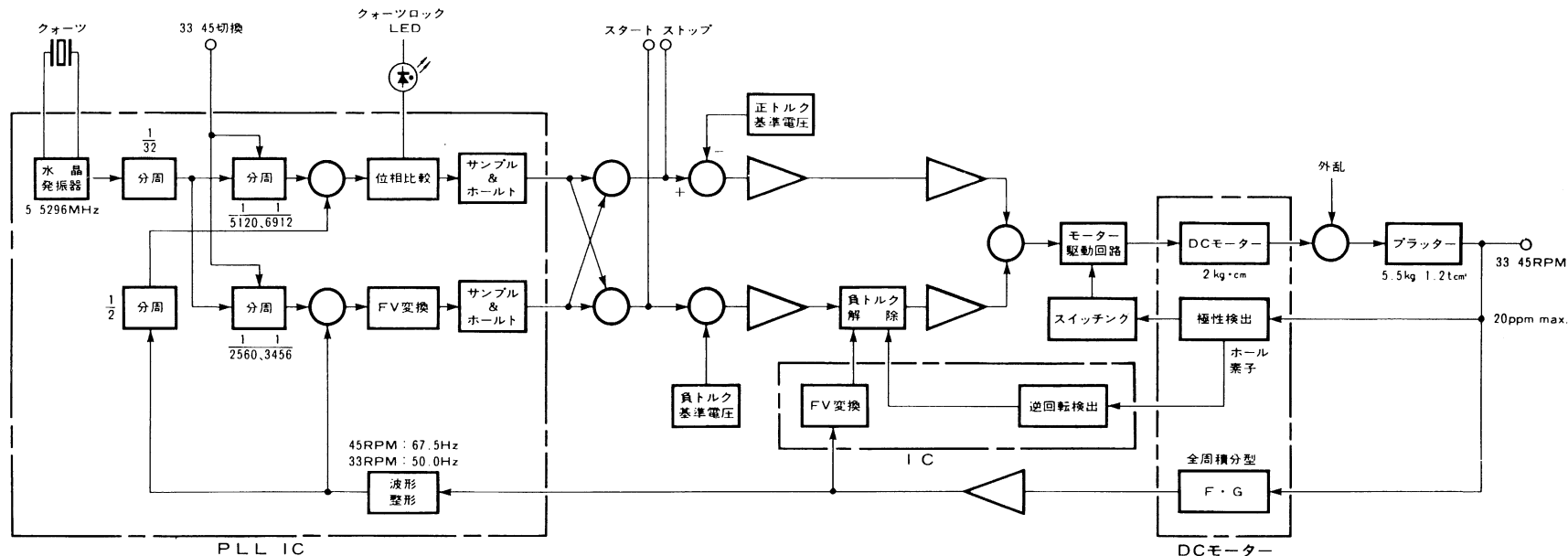
外装材質	5層積層、高密度パーチクルボード製
底板	高密度パーチクルボード製
化粧	ウォルナット木目鏡面仕上げ
ダストカバー	アクリル、重量2 kg
インシュレーター	スプリング、ゴム複合型

■総合

定格電源電圧・周波数	AC100V、50/60Hz
消費電力	12W
外形寸法(W×H×D)	547×263×419mm
総重量	34kg

※仕様および外観は、予告なく変更されることがございます。

ブロックダイアグラム/オプション



■オプション

GT-2000Xには、プレーヤーとしての基本性能を更に高めるオプションが用意されています。

①YDS-1(ニューマティックディスクスタビライザー)
レコードのソリ、カートリッジの針圧変動、針とびを抑え混変調歪や、ワウを減少させます。

②YGT-1(プラッタ)

イナーシャ世界最大級のガンメタル(砲金)製。

GT思想を単体プラッタに具体化した巨大374mmφ。

③YOP-1(外部パワーサプライ)

GT-2000Xの専用外部定電圧電源ユニットです。大電流容量により回転系の安定性をより一層高めることができ、またフォノモーターの両方向サーボを電子ブレーキとして利用し、速

やかに停止することもできます。

④YSA-2(ピュアストレートアーム)

黄銅、アルミ素材で非磁性を追求。信号線往復抵抗値は世界最小0.15Ω。中間接点なしで取付可能です。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得です。(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA 電音サービスセンター

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(0222)36-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(0252)43-4321
浜松	〒432 浜松市東伊場2-13-12 TEL(0534)56-9211
名古屋	〒454 名古屋市中区玉川町2-1-2 日本楽器流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 TEL(0878)51-7777・(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-14 TEL(092)472-2134

本社

営業技術課 電音サービスセンター 〒430 浜松市中沢町10-1
TEL(0534)65-1111

■ステレオ営業所

北海道	〒064 札幌市中央区南10条1-4 ヤマハセンター内 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市大町2-2-10 住友生命仙台青葉通りビル TEL(0222)23-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F TEL(03)255-6767 (03)255-5691 (03)255-2201 (03)255-1825 (03)255-2605 (03)255-4701
横浜	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-4871
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 ヤマハ新潟センター内 TEL(0252)41-2084
千葉	〒260 千葉市千葉港2-1 千葉中央コミュニティーセンター内 TEL(0472)47-6622
水戸	〒310 水戸市三ノ丸1-4-73 三井ビル5F TEL(0292)24-7774
高崎	〒370 高崎市連雀町75 ヤマハ高崎月販内 TEL(0273)27-3322

静岡	〒422 静岡市緑ヶ丘町1-15 緑ヶ丘ビル48 TEL(0542)85-4878
浜松	〒432 浜松市東伊場2-13-12 TEL(0534)56-4461
名古屋	〒464 名古屋千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター3F TEL(052)782-7551
北陸	〒920 金沢市武蔵町2-12 むらたビル5F TEL(0762)21-2166
関西	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんば センター内 TEL(06)647-6411
中国	〒730 広島市中区八丁堀10-14 TEL(082)221-4123
四国	〒760 高松市丸亀8-7 ヤマハビル7F TEL(0878)22-8642
北九州	〒803 北九州市小倉区堅町2-3-13 ヤマハ小倉センター内 TEL(093)592-3122
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2131

■ヤマハオーディオ日本楽器直営店

札幌店	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目 ヤマハセンター TEL(011)512-6126
仙台店	〒980 仙台市一番町2-6-5 TEL(0222)27-8517
銀座店	〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL(03)572-3133
浜松店	〒430 浜松市鍛冶町321-6 TEL(0534)54-4327
名古屋店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL(052)201-5153
心斎橋店	〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL(06)211-8869
神戸店	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 TEL(078)391-7651
海外拠点	ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・ スウェーデン・シンガポール・フィリピン
日本楽器製造株式会社	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.(0534)65-1111(代)

住所および電話番号は変更になる場合があります。

